

システム名	施工技術資料管理システム(Webファイリング)	ユーザー	工事会社
旧システムの 問題点	工事施工をした資料の整理として従来は原稿若しくはマイクロフィルムで管理をしていたが、保管スペース拡大による地代経費の増大と、資料検索時間が掛かることによる人件費の問題、さらにはマイクロフィルムの素材劣化による保存の不安などがあり、対応に苦慮していた。		
メリットなど	ネットワーク化によりデータの共有化と検索性の飛躍的な向上が実現。マイクロフィルムのデジタル化でデータの劣化の歯止めが図られさらにはバックアップでDVD保存がなされデータの安全性が実現する。Web対応で操作が分かり易い。将来に向け全国ネットワーク化が可能となる。将来に向け数百万数千万枚のデータを一元管理できるようになった。		

